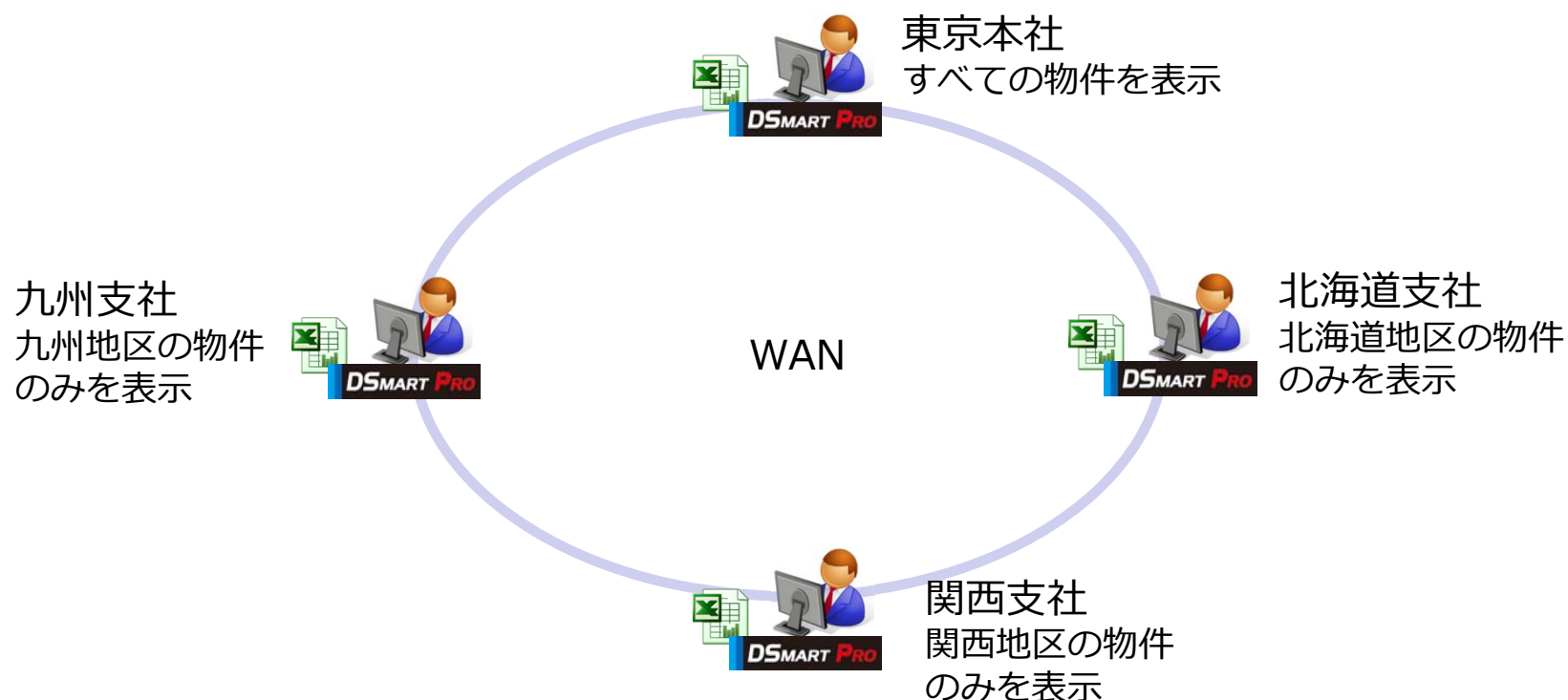


# 閲覧制限機能の活用

閲覧制限機能の活用により、WAN環境での利用において各拠点で表示する物件名を当該地区担当物件に限定することができます。

通常のLAN環境においても所属グループや個人ごとに担当物件のみを表示するなどの適用が可能です。



- ✓ ユーザーの所属グループまたはユーザー名ごとに表示物件を限定することができます。
- ✓ 担当物件以外を表示させないことでスッキリした表示構成や横断的な文書検索の高速化などが期待できます。